

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北関東)	良く なっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・当地限定ではあるが、来年の大河ドラマ放映に向けて、話題の盛り上がりとともに、関連商品も充実してきており、とにかく忙しい。
		衣料品専門店（統括）	単価の動き	・今年はお祭りに向けて、企業参加が多かったようである。その結果、販売商品が大量に出ている。
やや良く なっている		商店街（代表者）	お客様の様子	・当店の売上は一向に上がらないが、商店街の、特に飲食店では来客数が少し増えているようである。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・客の商品購入が、少し積極的に感じられる。特に、テレビや白物家電について動きがみられる。
		百貨店（営業担当）	単価の動き	・販売量というよりも販売額が、ほぼ前年並みである。
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・9月の売上は前年比100%だったが、今月は108%と好調である。来客数も前年比で伸びている。衣住食すべてで、数値は好調である。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・近隣の工事関係の客が増えている。
		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・数か月ぶりに販売台数が平月に戻っている。理由としては、今まで売れていなかった分が売れたこと、消費税増税を多少意識して、前倒しでの購買があり、車両販売は良くなっている。ただし、修理や一般販売はあまり伸びていない。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・今月は同規模の他のホテルが、リニューアルで休館している。そのため、客が当ホテルに流れてきており、前年と比べると良くなっている。
		旅行代理店（所長）	来客数の動き	・安定した天候に恵まれ、順調に観光客の足も向いている。ただし、懸念されるのは紅葉の進みの早さである。例年よりも7～10日程度早く進んでおり、シーズンが短期間で収束してしまうのではないかと。
		旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・3か月前と比較すると販売量が増加している。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・北陸新幹線を利用し、日帰り行程を組むことができるようになったために、今までにない来客の動きがある。当地は沿線ではなく駅からも離れているにもかかわらず、北陸新幹線延伸開業の影響が出ている。
		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	お客様の様子	・料金を載せた広告を新聞に出すと、問い合わせや来客が増える。
変わらない		商店街（代表者）	来客数の動き	・今月は特別変わったことはない。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・今月はスポーツとお祭りの季節である。伝統あるお祭りの他に、当地では、 特区という制度を設けて、町を元気にしようとする有志によるイベントが始まっている。客が参加してくれれば成功だが、なかなか難しいが、少しずつ浸透してきている。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・相変わらず商品の動きは悪く、展示会などの案内を出しても客の反応は鈍い。客も必要品の購入のみで、売手側の施策にはなかなか乗ってこない。季節商材の動きも今一つである。
		一般小売店〔青果〕（店長）	来客数の動き	・日々感じるのだが、本当に固定客がほとんどで、昔のように流れ客などはいない。ただ、足りない物を買いに来る流れ客はいる。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・前年同期は前半2週の週末に台風の影響を受け、大きく売上を落としたが、今年は天候に左右されることなく、順調に売上が伸びている。ただし、3週目から売上は停滞気味であり、月全体で見ると3か月前と変わらない。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・主力商材である婦人服の売上不振が目立つ。タンス在庫にない一部の新しい提案商材については動きが見られるものの、防寒衣料の動きが鈍く不振の原因となっている。
		百貨店（店長）	販売量の動き	・シニア層の客が減ってきている。
		百貨店（副店長）	販売量の動き	・特選ブランド催事では、前年比で2倍の売上を上げている。一方で、日々の商売は上向きになっても長続きせず、売上はジェットコースターのように乱高下している。富裕層以外は節約志向が強まり、格差がますます広がっているように感じる。
		スーパー（経営者）	来客数の動き	・1品単価は上がっているが、来客数の減少が気になる。

スーパー（統括）	単価の動き	・天候に恵まれ、来客数は8.9%、店単価も3.6%の増加となったが、1人当たりの買上点数はマイナス4.1%、客単価もマイナス1.3%と低下している。安さより品質を重視する人も増えているが、大多数は生活防衛意識がより顕著になりつつある。
スーパー（商品部担当）	販売量の動き	・来客数は前年並みで推移しているが、買上点数や客単価にも大きな変動はない。
コンビニ（経営者）	来客数の動き	・たばこや飲み物などの単品買いが目立っている。
コンビニ（店長）	お客様の様子	・前年同月は工事関係が大分あり良かったが、今年はそうした工事は少なく、あまり良くない。
衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・ここしばらく、客の動きが本当に悪い。前月よりは若干、波が出たかなというくらいではあるものの、客の動きと雰囲気を見ると、自分の生活を支えることで精一杯かなという感じで、悪い状態が続いている。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新車の販売は、軽自動車、普通車共に依然低迷している。新型車が登場しても、起爆剤にはなっていない。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・4月以降、軽自動車の届出車販売は、前年割れが続いており回復傾向が見られない。
乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・自動車販売だが、サービス、修理を含めて来客数が少なく、販売量が悪い。イベントを開催しても何をどうあがいても、全く販売量は増えず、整備も増えない。不安である。これで、消費税が10%に上がったらより一層不景気になるのではないかと。
乗用車販売店（販売担当）	お客様の様子	・前月下旬から今月にかけて、当地の観光地の紅葉は、最高の見ごろとなっている。かなりの数の観光客が押し寄せてきており、取引先の店なども潤っている。9月末～10月にかけては皆、景気の良い話をしているが、3か月前と比べてみると、景気が良いのは今の紅葉時期だけではないか。急激に良いとは思えないが、観光客はたくさん来ており、景気はよく見える。
乗用車販売店（管理担当）	単価の動き	・食品衣類等の必需品は消費するが、無駄遣いはしない傾向である。一部の大手製造業は賞与も前年を超える支給傾向にあるが、中小企業は非常に厳しい状況である。経済効果にあまり実感がなく、消費は低迷している。
住関連専門店（経営者）	それ以外	・商品により、原価の引き下げ、引き上げが混在しており、全体的に値上げ色が強くなってきている。売価は連動してやや値上げとなり、一品単価は上昇しているが、客単価は上昇しているとは言い難い。地域経済において、景気の底上げ感を感じるには至らない。
住関連専門店（店長）	販売量の動き	・売上全体はあまり変わらないものの、高額品の販売が、やや落ちているように感じる。
住関連専門店（仕入担当）	単価の動き	・10月は好天に恵まれ、月次で見ると売上高は順調に推移している。ただし、前年に台風が連続して上陸したため、相当数来客数を落とした分の上積みであり、購買単価や買上点数にはあまり変化が見られない。
その他専門店〔燃料〕（従業員）	販売量の動き	・10月に入り、一段と朝夕は冷え込み、燃料使用量も増加してきている。
一般レストラン（経営者）	単価の動き	・プレミアム付商品券効果なのか、高単価メニューの注文が多い。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・ランチの来客数が減っている。また、ディナー客も依然として来客数は伸びていない。来客数の動きからみても少し良くない。
一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・レストラン部門の売上は前年同期を若干ながら上回っている。年末の宴会予約も前年並みに入ってきているが、活況を呈するというほどではなく、勢いはない。
スナック（経営者）	お客様の様子	・当店は小さな店であり、大手チェーンの店が多すぎて、客がそちらの方に動いているのではないかと心配である。
観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・前年秋と比較して売上が若干良い。当県のふるさと旅行券の影響があるようである。
都市型ホテル（副支配人）	販売量の動き	・10月は3月、8月と並んでホテルの最盛期となるが、ほぼ例年並みの数字で推移してきている。インバウンドは大分落ち着きつつあるものの、その一方で、個人客の単価が持ち直してきている。
旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・原油価格は下がってきているが、消費には結び付いていないように感じる。

旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・行楽シーズンに入り、3か月前と比べると受注は多い。ただし、前年と比べると横ばいである。客の動向をみると、旅行をする個人客は若干増加傾向にある。要因としては、北陸新幹線延伸開業の効果といえる。	
タクシー運転手	販売量の動き	・運行回数はやや増えているが、単価が落ちている。	
タクシー（経営者）	お客様の様子	・夜の動きは良くなかったものの、昼の動きが少し良く、前年同月と比べて、4%の増収である。	
通信会社（経営者）	お客様の様子	・高齢者の解約が徐々に増えてきている。	
通信会社（営業担当）	販売量の動き	・8～9月の連休も落ち着き、この時期はかなり消費を抑える傾向にある。	
遊園地（職員）	来客数の動き	・単純な来客数の増加は見られるが、3か月前と比べて、大きな変化はない。	
ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・9月の天候不順を取り返した10月は、大幅な来客数の増加があったが、前年と比べて、単価の減少はいまだに続いている。	
ゴルフ場（総務部長）	来客数の動き	・11月の予約状況は前年同期をやや下回っている。	
競輪場（職員）	お客様の様子	・入場者数、購買単価共に、それほど変化が見られない。	
その他サービス [立体駐車場] (従業員)	販売量の動き	・来客数は横ばいである。また、単価等も相対的に横ばいになる。	
その他サービス [イベント企画] (職員)	お客様の様子	・大規模イベントでは、企業支援は不可欠であるものの、現状維持が精一杯である。	
設計事務所（経営者）	来客数の動き	・引き続き仕事の依頼は低調で、特に公共工事は少ない。	
設計事務所（所長）	来客数の動き	・3か月前と比べても変化は見られない。平日はもちろん土日も来客数が大幅に減少している。	
住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・客の動きは相変わらず良くない。マンション問題が発生し、不動産について慎重になっている。	
住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・最近土地の動き、貸店舗等の動きがほとんどなく、問い合わせも大変少なくなっている。景気が良いのか悪いのかわからない。	
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・通りに夜間営業の飲食店も増えているが、日中でも人通りはほとんどなく、中心街の名が恥ずかしいような状況が続いている。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・最近、夕方の来客数が激減している。特に土日は顕著である。単価を上げられるものは修正し、前年の売上は確保している。
	スーパー（副店長）	来客数の動き	・近隣で、大規模道路工事が2か所で始まり、来客数に影響が出ている。年内に終了する工事と来年までかかるものがあり、苦戦が予想される。
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・たばこやコーヒーなどを朝、購入する単品買いの客が、減っている。
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・3か月前は夏休みもあり、来客数が多く、イベントも多かったため、客の様子が活発であったためである。
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・当店の売上、来客数、客単価が前年より悪くなっている。
	家電量販店（店長）	販売量の動き	・地上デジタル放送のデジアナ変換終了特需の影響が続いているテレビは、4Kテレビがけん引役となり、前年比で2けたの伸びとなっている。しかし売上構成比の大きい冷蔵庫が伸び悩み、心配である。全体の金額では前年に比べ、数パーセントの上乗せで着地となりそうである。
	乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・折込チラシやダイレクトメールで宣伝活動をしていても反応が少ない。今までにこんなことはなかった。法人、個人を問わず購買意欲が乏しい。お金をかけた展示会を開催し、販売増につなげたい。
	一般レストラン（経営者）	単価の動き	・材料費や経費はどんどん上がっているが、飲食にかける消費者の予算はより一層、シビアになってきている。
	スナック（経営者）	来客数の動き	・例年だと割と良い時期だが、今年は宴会の予約があまり多くない。通行量も、めっきり少なくフリー客も伸びない。

		タクシー運転手	お客様の様子	・従来、駅までタクシーを利用して人が、自転車に乗換えたり、駅近くの駐車場を借りたりと、タクシー利用者がますます減少している。地方では、一人1台の割合で自家用車を持っており、帰路も飲酒せずに帰っている。
		タクシー（役員）	販売量の動き	・前年同月と比べ、下がっている。
		通信会社（社員）	お客様の様子	・購入目的での来客数が減っている。
		美容室（経営者）	競争相手の様子	・取引先営業と話をしたが、最近は繁盛店の話をあまり聞かないとのことである。10月は天気の良い日が続いているにもかかわらず、人出があまりなく、売上、単価共に、漸減している。
		その他サービス 〔自動車整備業〕（経営者）	お客様の様子	・車検整備、車体整備、板金塗装の注文で、必要最小限を望む客が増加している。そのまま放置し使用すれば、後で修理費用がかさむと理解していても、現在の経済状況では我慢し、また、愛車の美観上、かなり問題がある状態でも同じ理由で我慢している。
		設計事務所（所長）	それ以外	・大手サッシメーカーの営業の話では、かつてないほど受注が落ちている。また、当地ゼネコンの話では以前と状況が変わり仕事の争奪が厳しい、と話している。
	悪くなっている	一般小売店〔衣料〕（経営者）	来客数の動き	・当地の山奥の紅葉はぼつぼつ終わったが、当店の周りの紅葉は見ごろであり、客はよく来ている。ただし、買物については、あまり買わないため困っている。
		通信会社（経営者）	販売量の動き	・相変わらず地方の不景気に歯止めはかからない。本来なら今月から、年末に向けて広報ラッシュのはずだが、そんなものは微塵もない。
企業 動向 関連 (北関東)	良くなっている	その他製造業 〔環境機器〕 （経営者）	受注量や販売量の動き	・前月は環境装置の納品で通常の2.5倍の売上となっている。今月は決算月で、前年決算より売上で1.31倍の46,000万、減価償却で1.49倍の9,300万、利益予想で約2,000万となる見込みである。当社2番目の太陽光発電所、約14,000万を一括償却予定のため赤字になる。
	やや良くなっている	食料品製造業 （営業統括）	競争相手の様子	・ガソリン価格の低下や10月の晴天続きが大きく影響して、来県者数が大幅に伸び、工場見学者は前年と比べて、1割程度増加している。
		化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・主力製品の出荷低迷から少し上向いてきている。また主力製品以外の出荷も3か月前と比べ、増えている。
		輸送用機械器具 製造業（経営者）	取引先の様子	・この2～3か月は、取引先の様子、受注量、販売量の動き等、いろいろ忙しいところ、暇なところがある。当社はまずまずの良い状況である。
		輸送用機械器具 製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・主要取引先の輸出が増加している。
		その他製造業 〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・一部小売店の業況は上向いてきているが、全体的には低迷が続いている。東京で開催された国際展示会も中国の景気動向の影響で来場者数、売上共に減少している。
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・最近になり発注、受注共に急増してきている。現場も手一杯になっている。
		金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・中国の景気減速懸念から、外国人観光客の減少が予想されたものの影響はなく、増加傾向である。
	変わらない	食料品製造業 （製造担当）	受注量や販売量の動き	・数量は前年と比べ、ほぼ変わらない。
		窯業・土石製品 製造業（経営者）	取引先の様子	・例年の季節商材受注対応はあるが、他はあまりない。
		窯業・土石製品 製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・多少、動きがみられるようになってきている。
		一般機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・パワーショベル関連の仕事が低迷し、他の産業分野の仕事でマイナス分を補いきれない状況である。また、全体的に数量のまとまった仕事が減ってきている。
		電気機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・どうも景気が回復しているとは思えない。現状、受注量もあまり変わらず、どうにもならない。ある部門では、手が空いて仕事が全くなく、近年にない厳しい状況になっている。

	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前年同時期に比べ、ほとんど変わらないが、安定した仕事がなく、短期納品が多い。営業活動を常に行わないと、仕事はなくなる。	
	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・10月に入り、パーベキュー、レジャー用品等の行楽用品と冬物家電等の商材が、例年並みには動いている。特に好材料はないが、燃料価格が少し下がっている。	
	金融業（役員）	受注価格や販売価格の動き	・市場にパイがない中での競争により、非常に厳しい単価となっている。	
	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・取引先から業務発注の打診は増えているものの、当社が受注しても利益は出ないため、ほとんど断っている。	
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	取引先の様子	・小売店の出店などが重なり、今月のチラシ出稿量は112.7%と今年最高の伸び率となっている。一方で、地元日刊紙の紙面広告では、首都圏からのもの、地元のもの共に減少していて前年割れとなっていると聞いている。	
	経営コンサルタント	取引先の様子	・どの業界でも内部的に業績格差はあるものの、総体的に可もなく不可もない通常の経営サイクルに入っている。	
	社会保険労務士	取引先の様子	・想定範囲内なのだろうが、売上が厳しくなってきた、と話す中小事業所が増えてきているようである。	
	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・前月は、上半期末で一時的に増加したが、それ以外に、特段の変化は見られない。	
	やや悪くなっている	建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・現政権のもと公共工事は2年連続発注増であったが、最近では前年比10%減と急速に落ち込んでいる。当社も前年比6%の受注減と、不安材料である。10年以上続いた建設業不況がこの2年で、何とか上向いてきたものの、今後の心配である。ただ言えることは前政権の建設業政策に比べ、現政権は有り難い。
		金融業（調査担当）	取引先の様子	・中国経済減速の不透明感が増し、製造業では業況感が低下している。
		不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・条件が合わず、契約が更新できない物件も出ている。
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・年末商戦への宣伝広告の立案、検討時期に入っているためか、企業の広告アクションが前年より10%程度、一気に減っている。
	悪くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・主要取引先からの受注が非常に不安定である。当社取引先は市場動向の見極めに苦労しているようである。
雇用関連	良くなっている	-	-	
(北関東)	やや良くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数が上向いている。正社員求人も増えてきている。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・自動車関連、電機、製造業等における求人内容は、ひとまず落ち着いている。住宅関連の着工は、伸び悩んでいるようだが、土木建築等の動きは見られた。さらに食品等の生鮮食品は少し高値だが、購買力はあったように見受けられる。ただし、秋冬物については、まだ出足が鈍いようである。
		人材派遣会社（管理担当）	求職者数の動き	・各業種共に夏と同様の求職者数である。良くなっている状況ではないが、悪くもなっていない。
		人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・ボーナスの検討時期でもあるが、業績が悪く、打つ手がないため。来季以降も含めて人員削減を考えている企業がある。
		人材派遣会社（支社長）	求人数の動き	・10月の受注が前年比で120%を超えるなど、好調を維持している。
		求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	・求人紙に掲載する企業は、3か月前より多少増えている。ただ、周辺企業全体をみると景気は低迷しており、正社員の募集は少ない。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・建設業、製造業、卸・小売業、福祉、サービス業等、管内の主力産業で前年同月と比べて、新規求人が増加しており、依然として人手不足の傾向は続いている。そのうち派遣求人の占める割合が引き続き増加している。一方で、小規模ではあるものの人員整理の情報や、大手電子機器企業より一時帰休による助成金の相談が寄せられるなど、一部には不安な要素もある。

	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・求人をけん引する製造業では、扱う製品により企業間格差が広がり、リストラを始めた大手企業の一部門、忙しく求人が増える自動車及び医療関連企業と、様々な様相を呈している。
やや悪くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・今までの売上より、最近の売上、働く人の数が減っている。景気は悪いと思う。
	職業安定所（職員）	採用者数の動き	・新規の求人、求職者数及び有効求人、求職者数が減少傾向の中、就職者数は220件前後で推移していたが、今月は190件と半年ぶりに200件を下回る結果となっている。このことから、企業では業務量増加による積極的な採用が行われなかったとみている。
悪くなっている			